

たいよう

2015年夏特別号

さいたま市南区別所2-29-8 Tel&Fax:048-864-8686

E-mail:info@saine-2013.com URL:<http://saine-2013.com>

めだか保育園の太陽光発電設備の設置の実現のために、貴重な募金をお寄せいただいたみなさんに、この1年間の発電状況について報告し、あらためてお礼を申し上げます。



めだか保育園の太陽光発電 (2014.03~15.02)

1万5071kwh (キロワットアワー) を発電

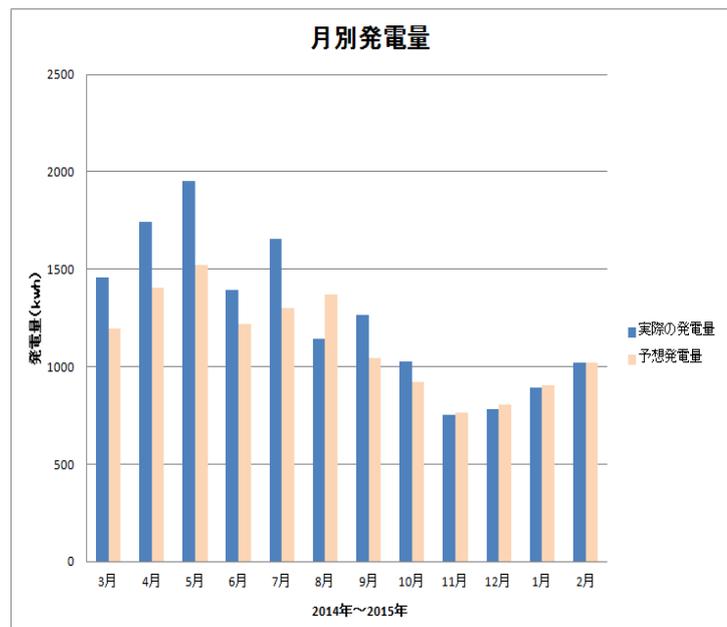
温暖化ガス (炭酸ガス) の削減 7,900kg

電気代の節約と売電収入の合計 487,000円

埼玉県の補助金と、多くの皆さんの募金と貸付で実現した「めだか保育園」の太陽光発電設備は、2014年3月からの1年間、トラブルもなく順調に発電しています。

この1年間の発電量は、予想発電量13,465kwhより1,606kwh(約12%)多かったこととなります。

月別の発電量の推移をグラフに示します。青色の縦棒が実際の発電量、薄い橙色が予想発電量です。これを比較すると3月から7月までと9月~10月の発電量が予想を上回っています。一方、11月から2月まではほぼ予想通りの発電量となっています。しかし、8月は天候の影響か、予想発電量の約83%と年間を通して低い値になっています。



東京電力管内では、発電の際1kwhあたり525gのCO₂が排出されています(2012年度実績)。めだか保育園での太陽光発電は、CO₂の排出量を約7,900kg減らしたことになります、地球温暖化防止に貢献したことになります。これは、約4,400m³で、東京ドーム(約124万m³)の280分の1にあたります。

めだか保育園での太陽光発電状況については、今後も機会を見て報告を行っていきたいと考えています。

なお、めだか保育園の電気代は、節約分が92,341円(この1年間の東電からの購入量24,029kwh、920,626円、前年度が28,671kwh、1,012,967円)売電収入が10,398kwh、395,139円、めだか保育園の電気代のプラス計は487,480円となりました(このうち48万円がNPO埼玉自然エネルギー協会の借入金の返済基金となり、8年後に設備はめだか保育園に寄付されます)。

「おひさまからの贈り物“太陽光発電”」

めだか保育園園長 黛 秋代

子どもたちはおひさまが大好きです。おひさまは子どもたちを元気にしてくれます。子どもたちはおひさまの光が少しでも温かくなると、半袖半ズボンになって、水をくみ、砂場へ土山へと向かっていきます。

おひさまは、私たちにたくさんの恵みを与えてくれます。お花や作物を大きく育て、私たちの日常生活を豊かにさせ、生きる糧を提供してくれます。

めだかに太陽光発電がやってきた。

地域の皆さんの協力で、自然エネルギー(太陽の光)で、めだかの電気が灯ることになった。なんだか不思議な気分である。不思議で

もあり、嬉しくもある。おひさまの光が電気になるなんて。子どもたち、みんな不思議。でも本当のこと。大きくなったら、その不思議を知ると思う。太陽の光を電気にするなんて、その設備にはたくさんのお金があるが、原発よりはましである。原発事故のせいで福島の子供たちは、一生不安をかかえながら生きていかなければならなくなった。

めだか保育園も、未だに散歩のコースは放射能の低い場所を選んでいる。楽しかった那須の合宿も行けないままになっている。原発事故の時に風によってやってきた放射能の影響(体内被曝)も定かではない。



自然エネルギーの普及・省エネのとにくみをすすめます

NPO 法人埼玉自然エネルギー協会

私たち、NPO法人埼玉自然エネルギー協会は、設立以来3年目を迎えました。この間、“自然エネルギーの大切さ”や“世界や日本での取り組み”について学んできました。

東日本大震災での福島原発の事故から4年、私たちはいま新たな選択の時を迎えています。

政府は、原発の再稼働を推進し、自然エネルギーは原発や火力発電の“つけたし”にしようとしています。しかし21世紀の大きな流れは自然エネルギーの活用にあります。原発推進派は、原発は安く、自然エネルギーは高いといっていますが、自然エネルギーは広がるほどコストが下がり、域外への資金の流出を抑え、おカネで計算できない環境の保全に貢献します。原発は未来に途方もない有害物を残し、推進のために巨額の税金投入、使用済燃料の処理費用、福島事故の補償などもコストとして計上されず、安いというのはデタラメです。

地域に眠る自然エネルギーの活用は、地域の町おこしとなり、真の地方創生となります。都市部に暮らす市民もこの取り組みを支援するとともに、省エネと、自然エネルギー(再生可能エネルギー)を活かし、“原発ゼロ、温暖化防止”の新たな社会への転換に力を合わせるときです。

私たちは、ひきつづき、県の補助金を活用した公益施設への太陽光発電所設置にとりくむとともに、別紙にありますとおり、市民の力で栃木県那須に市民共同発電所をつくる予定です。この道を多くの皆さんと協働して探求していきたいと考えています。ともに力を合わせてくださいますよう、心から訴えます。

